



# 波紋

## この一年をふりかえりみて

— 新たな飛躍を夢みながら —  
皆様お一人、お一人のあたたかいご理解

ご支援ありがとうございました

教育活動総合サポートセンター

理事長 井 口 衛

特定非営利活動法人  
教育活動総合サポートセンターだより  
「波 紋」 第 2 号  
発行人 井 口 衛  
題字デザイン・山口正勝

発行所 教育活動総合サポートセンター  
〒213-0033 川崎市高津区下作延1219-104  
TEL・FAX : 044-877-0553  
E-mail : support0731@luck.ocn.ne.jp  
ホームページ : http://www16.ocn.ne.jp/~snmi/  
印刷 西桜印刷株式会社

### 「子たちに力を

#### 子たちと夢を」

十七年度もどうぞよろしくお  
願い申し上げます。

教育活動総合サポートセンター

スタッフ一同

春のあたたかい陽光の中で、  
今日も元気な子ども達の声、に  
こやかに対応する先生方の姿を  
見ることが出来ます。センター  
の中には日直表、子ども達一人  
ひとりの記録をはじめ多くの資  
料、設備が整えられています。  
活動のようすにつきましましては

(別面参照) 省きますが文字に  
表せない当センタースタッフの  
たゆまない情熱と努力の跡があ  
ることを忘れてはならないと思  
います。実際の活動は正味十ヶ  
月余ですが、わたくしの脳裡に  
は三月六日の設立の会、理事会  
七月三十一日、中原市民館での  
設立総会、記念講演会、懇親会

の熱き余韻がまだ鮮明に残って  
います。ご出席いただきました  
阿部市長様、河野教育長様、篠  
田退職校長会会長様、ご講演い  
ただきました藤嶋昭先生、多く  
の関係機関・組織の代表の方や、  
また趣旨にご賛同いただきました  
賛助会員、団体、活動会員の  
方々のお心・支えがあるからこ  
そ現在の活動のバネになつてい  
ると考えます。ありがたいこと  
です。「小さな波の紋が確かな  
広がりを見せはじめた」

十七年度に向けて多くの課題  
もかかえてはいますが(別面参  
照)、十六年度の反省の上に立  
つて事業の充実と更なる発展の  
ために力を合わせたと思います。  
今年度もどうぞよろしくお願  
い申し上げます。

追記  
この原稿がなんとかまとまっ  
た夕べ、宮田教育委員長様、北  
條教育長様、古橋総務部長様、  
石川庶務課長様と出会いました。  
「NPOの趣旨、そして人と  
人とのめぐり逢いの不思議さ、  
ありがたさを感じたひとときで  
した。桜も開花宣言、天の運、  
地の利、人の和を想いながら。  
(四月六日脱稿)

## 活動会員さん

### 本年度もよろしくお願ひします

サポートセンターが開設してはや一年が過ぎよ  
うとしています。この間、活動会員、学習活動支  
援協力者、学校現場で教育活動サポーターとして  
学級担任の補助として援助をいただきました皆様  
のおかげさまで多くの方々から、高い評価と感謝の  
言葉をいただきました。  
次年度はさらに当セ  
ンターの特徴を生かし、  
不登校等の不応慮を起  
こしている児童生徒の  
早期学校復帰を目指し、  
さらなる活動会員の皆  
様のご協力とご指導を  
お願いいたします。



## 賛助会員の皆さま

### ありがとうございました

不登校やいじめ、学力不振等の不応慮を起こし  
ている児童生徒の学校復帰を第一の目標とした私  
たちの取り組みに多くの方々にご賛同とご支援を  
いただきました。  
二〇〇人に及ぶ個人賛助会員と三十団体の法人・  
団体賛助会員の援助をいただき、おかげさまで大  
きな成果をあげることができました。特に退職校  
長会の皆様の温かい精神的な支えには、私たちが  
大きな自信と意欲を持って活動することが出来ま  
した。本当に有難うございました。

# 17年度事業発展をめざして

## 1. 活動方針

① 家庭・地域・学校及び教育関係機関との連携を図り、計画した青少年健全育成事業を着実に実践する。

② 誠意ある対応を基に、子どもがいきいきと目標を持ち生き力を育てる。

③ 活動の充実を図るため、活動会員50名以上の獲得をめざす。

## 2. 事業計画

### (1) 学習支援事業

・事業内容  
各教科学習の基礎基本の定着補習や学力不振及び学力向上などにむけ、個別学習を中心とした学習支援活動を行う。

・対象  
小学生・中学生（高校生）

・期間・通年（月々金曜）

（日・祝日は休み）

・時間・PM4:30  
PM8:30

・場所・サポートセンター  
・受付・電話で申し込み  
・費用・光熱費、資料代等有り

### (2) 教育相談事業

・事業内容  
児童生徒・保護者の不安や悩み、不登校・問題行動等に関する相談を相談者の要請によって電話・来所・訪問相談等を行う。

・対象  
小学生・中学生（高校生）とその保護者

・期間・通年（月々金曜）

（日・祝日は休み）

・時間・AM9:30  
PM5:30

・相談受付・電話で予約等  
・費用・不要



## 16年度 校種別学習支援件数

(単位・人)

校種別	総数	現在
小・学習	9	6
小・適応	5	5
中・学習	8	5
中・適応	18	15
合計	40	31

(平成16年6月～平成17年1月)

(中・適応に高校生1名含)

## 企画研修会の開催

NPO教育活動センターでは、教員、市民等を対象に研修会の開催を計画しています。昨年度は当センターの開設計画講演会を兼ねて開催しました。東大名誉教授で川崎市教

育委員の藤嶋昭先生をお迎えした研修会には大勢の先生方、市民の皆様に参加していただきました。本年度は、10月に開催を予定しています。皆さんのニーズと当センターで学習している児童・生徒の保護者を考慮して研修内容を検討していきます。ご期待ください。

## 相談校種別件数

	合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年
小学生	24	0	4	3	4	7	6
中学生	16	12	18	16			
高校生	5	3	1	1			
その他	5						
総計	80	15	23	20	4	7	6

(平成16年6月～平成17年1月現在)

## 相談主訴別件数

	男子	女子	合計
学習不振	19	13	32
不登校	18	22	40
いじめ	2	1	3
障害	2	1	3
その他	1	1	2
合計	42	38	80

(平成16年6月～平成17年1月)

## サポーター研修始まる

当サポートセンターでは、川崎市内小学校に教育活動サポーターを派遣しています。各学校からサポーターの派遣依頼が増え、40名程が出向しています。サポーターからの

報告によると、その支援内容も多岐にわたるようになりました。各学校のニーズに応えられるサポーターとして活動できるよう研修を行います。特に学級担任の指導支援者としての資質の向上を図ります。また、サポーターの中には将来教員を希望している者がいます。そのことにも留意した研修を進めます。

### (3) 適応指導事業

・事業内容  
不登校者・学力不振者に対する学習支援・相談活動及び児童生徒虐待に対する相談学習支援等を行う。

・対象  
小学生・中学生（高校生）

・期間・通年（月々金曜）

（日・祝日は休み）

・時間・①AM10:00～  
PM2:00

②PM4:30～  
PM8:30

・場所・サポートセンター  
・受付・電話申し込み  
・扱い・学校出席扱い

・費用・光熱費、資料代等有

(4) 教育活動サポーター配置事業  
小学校児童の学力向上にむけ、学級担任の補佐として主に教員志望の大学生を募り、派遣要請校にサポーターを派遣する。

・事業内容  
川崎市立小学校

・期間・通年（週2～3日）

・対象  
川崎市立小学校

・期間・通年（週2～3日）

### (5) 研修研究講師派遣事業

・時間・4時間単位  
・申し込み・書類申請  
・費用・NPO法人負担

・事業内容  
学級経営、教科研究研修、児童生徒指導などに必要な講師を要請により派遣する。

・対象  
幼、小、中、高等学校

・期間・通年  
申し込み・書類・電話等  
・教育会館内・随時・直接

(6) 地域健全育成啓発事業  
・事業内容  
家庭・学校・地域との連携を図るとともに、明るい地域と健全育成をめざして「教育講演会」を実施する。

・対象  
家庭、学校、地域、教育関係機関 児童生徒

・期日・10月中旬（予定）

・場所・市民館（予定）



# 相談活動にあたって

総合サポートセンター開設以来、電話で教育相談の依頼が多く寄せられています。

この教育相談の特別は、第一に、利用する人がよりよいサポートを受けられるように、始めに受理相談が丁寧に行われます。第二は、学習指導を希望する子どもの状態により教育相談が並行して行われます。第三は、教育相談の内容により、電話相談、来所相談、訪問相談など多様な相談方法が利用できることです。

現在までの相談内容は、学習に関するものでは、集中力がない、学習意欲がない、自閉的傾向、学習障害など。また、行動に関するものでは、不登校、友人関係、落ちつきがない、集団不適応などが主な内容となっています。

そして、相談活動では、本人の心理的狀態を理解し、情緒面の安定を図ると共に、行動様式を拡げていきます。更に保護者の要請により、学校・総合教育センター相談室・ゆうゆう広場などと連携を図っています。

相談の事例では、「中学三年になつてまもなく、親しい友人とケ

ンカをして学校に行けなくなつた」という相談では、母親が来所相談にみえ、このまま学校に行かれないと困る。両親で本人を引きずり出したが車の中で体を硬直させていた。と話していたが、相談が進む中で、母親は、学校へ行けと強く働きかけても無理と考えるようになり本人の気持ちを理解する努力を始めた。

その後、本人が来所して、「自分がアトピーで苦しんでいるのを皆知らない。」担任は、「気にするな」といい苦しみをわかつてくれないと胸中を語り始めた。そして、相談回数が重なる中で、勉強したいという意欲がでて、家庭訪問による学習指導を併行して行い、少しずつ自信を回復、やがて登校を開始、希望する高校に合格、新しい生活がスタートしました。

(片山 世紀雄)

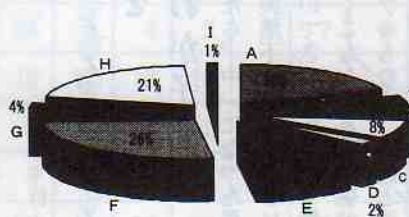
## 多くの子どもとともに前進

昨年10月からN小学校1年生にサポーターとして週3日行っている。大好きな一年生で心ワクワクの3日間である。

Yさんは明るく元気で意欲満々の男の子。ある朝教室に入ると「見てください。Yさんが1人で書いてたんですよ。」とくじらぐもの吹き出しに書かれた用紙を見せてくれた。Yさんが自分の思いを短文であつても表現できた事は素晴らしい進歩である。時には「ゆびの

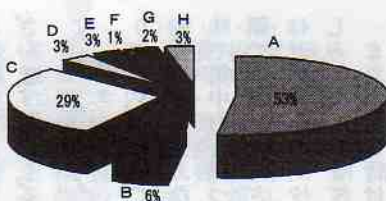
平成十六年度における収支（1月31日現在）は次の通りです。

### 財政の状況（平成16・17）



項目	金額(円)
A 準備金	870,000
B 入会金(活動会員)	370,000
C 会員年会費(活動会員)	348,000
D 助成金(川崎市民活動センター)	100,000
E 活動会費(児童生徒)	525,000
F 個人賛助会費	1,210,000
G 学校団体賛助会費	190,000
H 会社関係団体賛助会費	950,000
I その他賛助会費	50,000
合計	4,613,000

収入は、賛助会費（個人、学校団体、会社、その他の賛助会費を合算）が、約52%をしめています。



項目	金額(円)
A 事務所賃賃料	2,180,315
B 光熱費・事務所管理費	249,791
C 活動会員謝礼	1,225,500
D 印刷費	135,450
E 消耗費	129,959
F 通信費	40,680
G 研修費	99,420
H その他	131,229
合計	4,192,344

支出は、事務所賃賃料（初年度のため補償金、仲介料等を含む）が53%をしめます。次いで、子どもたちの学習や相談に対応した活動会員への謝金（旅費程度）が29%、光熱費・事務所管理費が6%となっています。

今年度は当センター設立の年で、多くの方々にご支援をいただきましたが、財政的には厳しい年でした。17年度は、「子どもたちに力を」の活動をより充実させていくためにも、財政面の安定に努力してまいります。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

### 編集後記

◆昨日より今日、今日よりあしたへ、よろこびが広がります。努力の成果が輝きます。

◆私たちが活動を初めておよそ1年。200人を越える賛助個人会員、30人に及ぶ賛助団体・法人の方々の厚い心に、改めて感謝致します。◆「津田山の桜が満開だよ」花の春。やがて新緑の初夏へ季節は移ります。

◆「私もいつしよに前へ前へ」サポーターの佐藤先生のファイトが季節の息吹と重なります。

◆「暗かった半年前がまるで嘘のように」お母さんの安堵の気持ちにスタッフ一同のやる気の源泉です。◆そうです、明けな夜はないのです。タイムリーな動機づけ、少しの支援で「勉強楽しくなつてきた！」瞳が輝くのです。心の夜明けです。

◆子どものやる気はふえました。笑顔の学習が生まれます。財政面の努力、運営の工夫を強化します。◆NPOだからできる多様な事業を通して支援の波紋がさらに広がるよう努力を重ねます。

◆教師を目指す若きサポーターへの研修の充実もその一つです。

◆新年度のスタート、新たな賛助会員の申出を期待しています。

◆見学、相談大歓迎。お気軽にお立ちよりください。電話やファックスもどうぞ！

(佐藤 久美子)